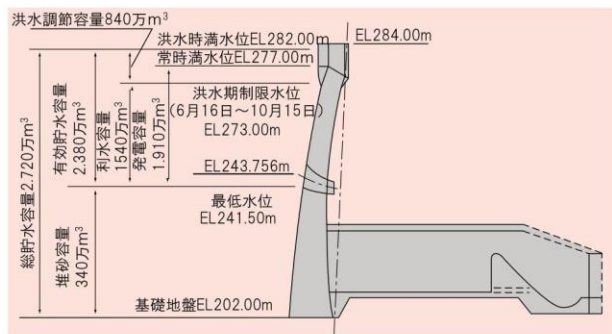


ダムのプロフィール

青蓮寺ダムは、基礎岩盤標高202.0mの上に作られた高さ82mのアーチ式コンクリートダムです。上流側には、低水管理設備の取水設備、ダム堤頂部には非常用洪水吐きゲート設備、ダム下流中央部に常用洪水吐きゲート設備、右岸側下流に低水管理用設備の利水放流バルブ、青蓮寺発電所・青蓮寺土地改良区に送水する導入管が設置されています。

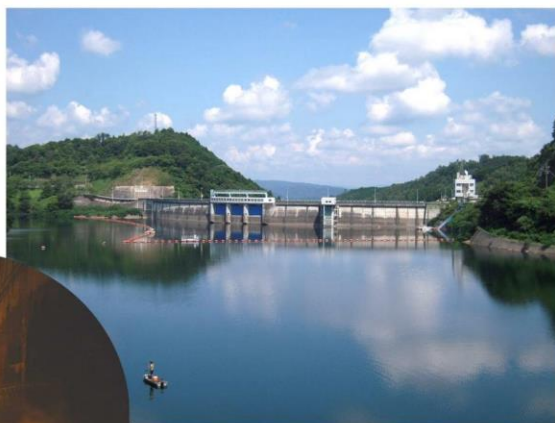
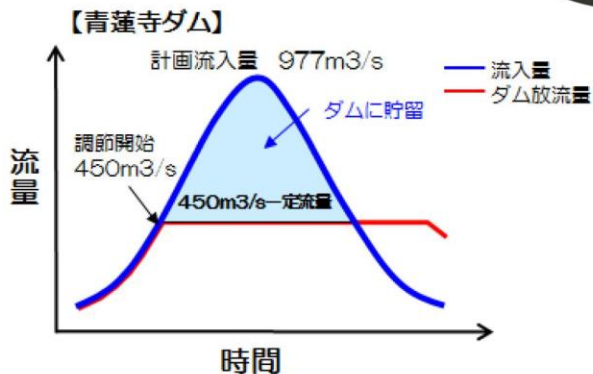
■貯水池容量配分図



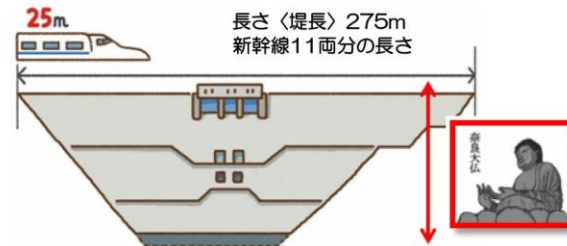
青蓮寺ダムは、昭和45年7月に管理を開始しました。この間に洪水調節は46回実施しそのうち5回は、青蓮寺ダムがなければ名張市内で浸水被害が発生していたと予想され、ダムの効果が十分に発揮されています。

また、平成11年4月1日から比奈知ダムの完成及び下流の河川改修に伴い洪水調節の方法の見直しが行われ、定率定量放流から、450m³/sの一定量放流方法に変更されました。

■洪水調節計画図



ダムの規模



■諸元

河川名	淀川水系名張川支川青蓮寺川
位置	左岸 三重県名張市青蓮寺字ガオヤ 右岸 三重県名張市中知山下下田
集水面積	100km ²
地質	花崗片麻岩
形式	アーチ式コンクリートダム
堤高	82.00m
堤頂長	275.00m
堤体積	175,000m ³
湛水面積	1.04km ²
総貯水量	27,200,000m ³
有効貯水量	23,800,000m ³
常用洪水吐き	高圧キャタピラゲート 2門 放流量 600m ³ /s
非常用洪水吐き	ローラゲート 3門 最大放流量 700m ³ /s
低水管理用設備	ホロージェットバルブ 1門 最大放流量 30m ³ /s
総事業費	73億7千万円

水がたまる量〈総貯水量〉
2,720万m³京セラドーム23杯分の量



水がたまる面積〈湛水積〉1.04km²



ダムの形式

アーチ式コンクリートダム

両岸で水圧をささえるアーチ型の近コンクリートダムです。重力式より少量のコンクリートで造れますが、両岸が固い岩でできている所でないといけません。青蓮寺ダムはこのタイプであり、両岸には固い岩がたっぷりです。

